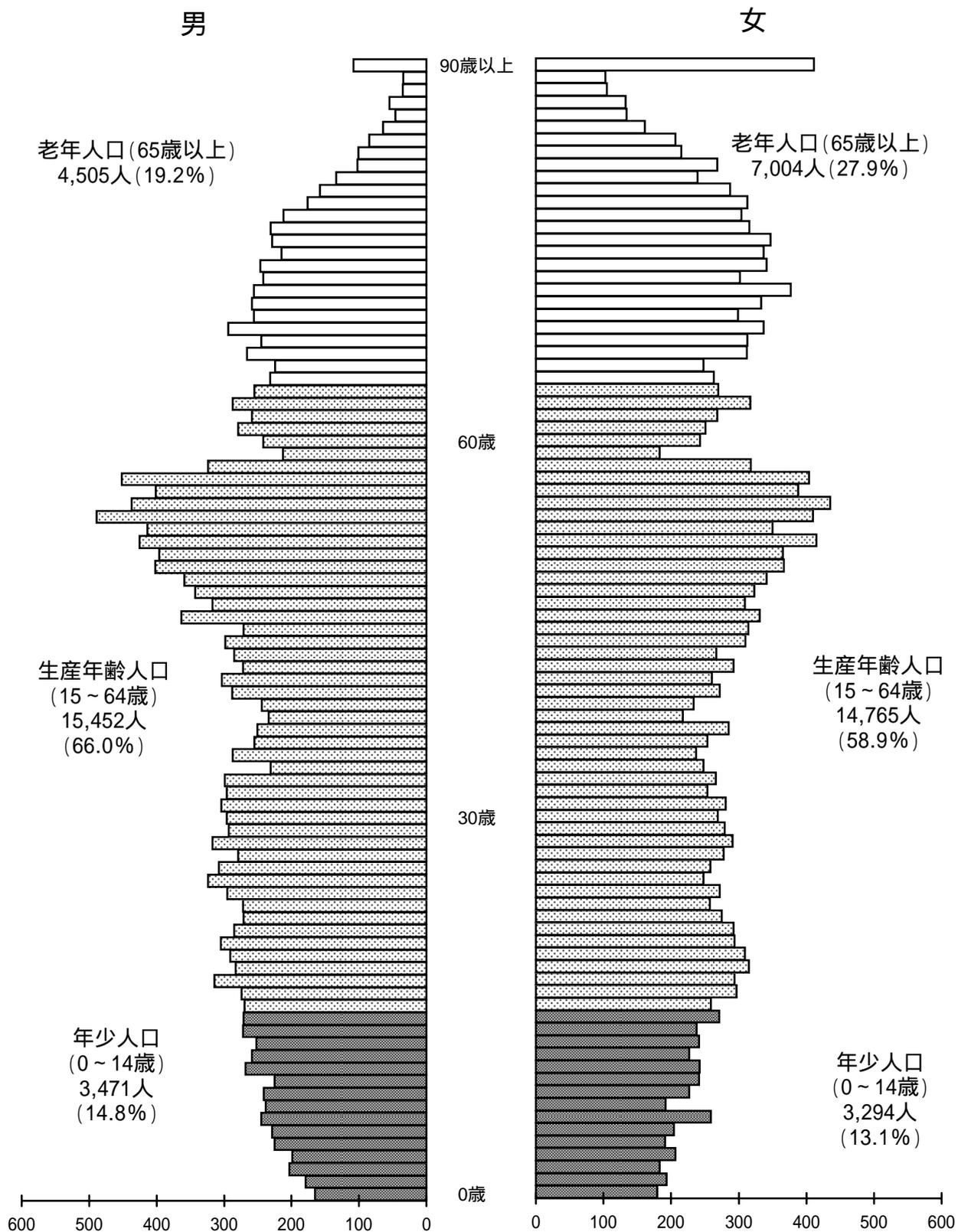


第2章 阿賀野市の健康状況

第1節 健康に関する現状

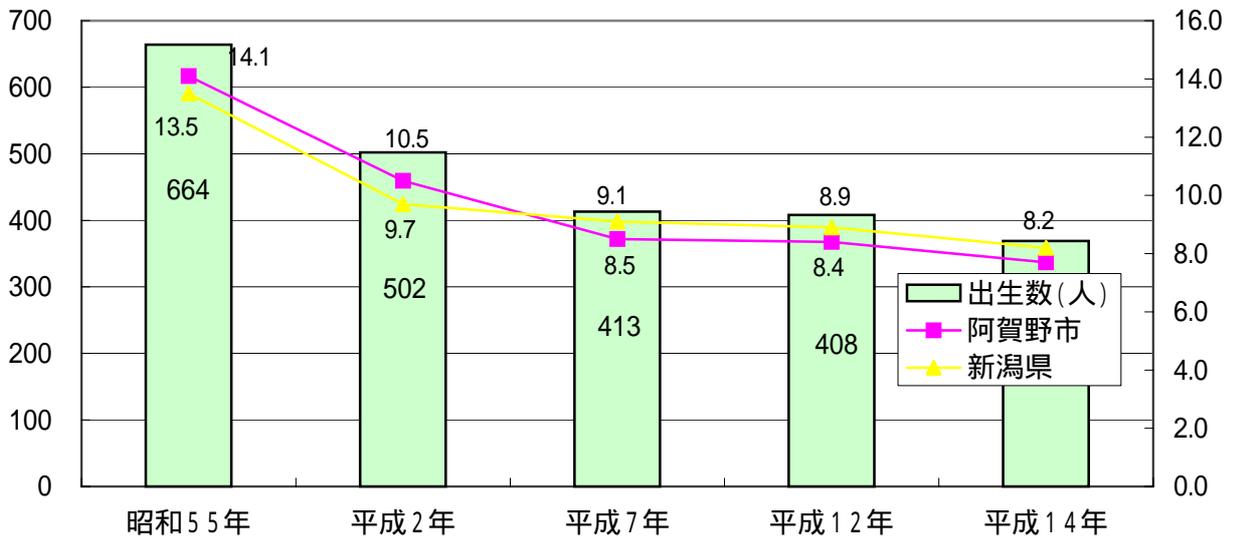
阿賀野市の人口(48,491人)

(平成17年4月1日現在)



出生数と出生率の推移

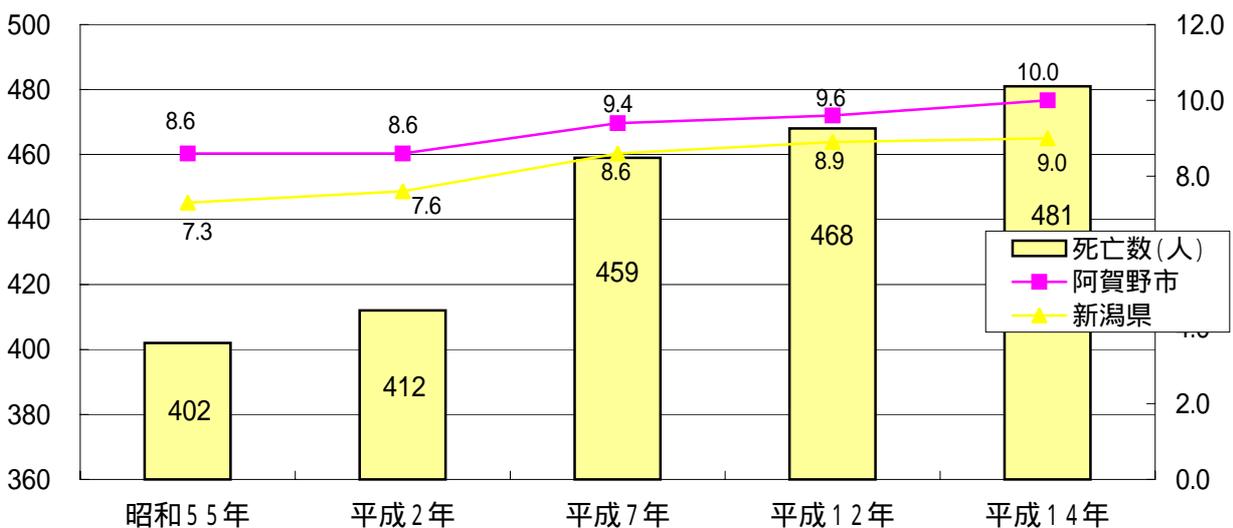
	昭和55年	平成2年	平成7年	平成12年	平成14年
出生数(人)	664	502	413	408	369
阿賀野市	14.1	10.5	8.5	8.4	7.7
新潟県	13.5	9.7	9.1	8.9	8.2



《資料：福祉保健年報より》

死亡数と死亡率の推移

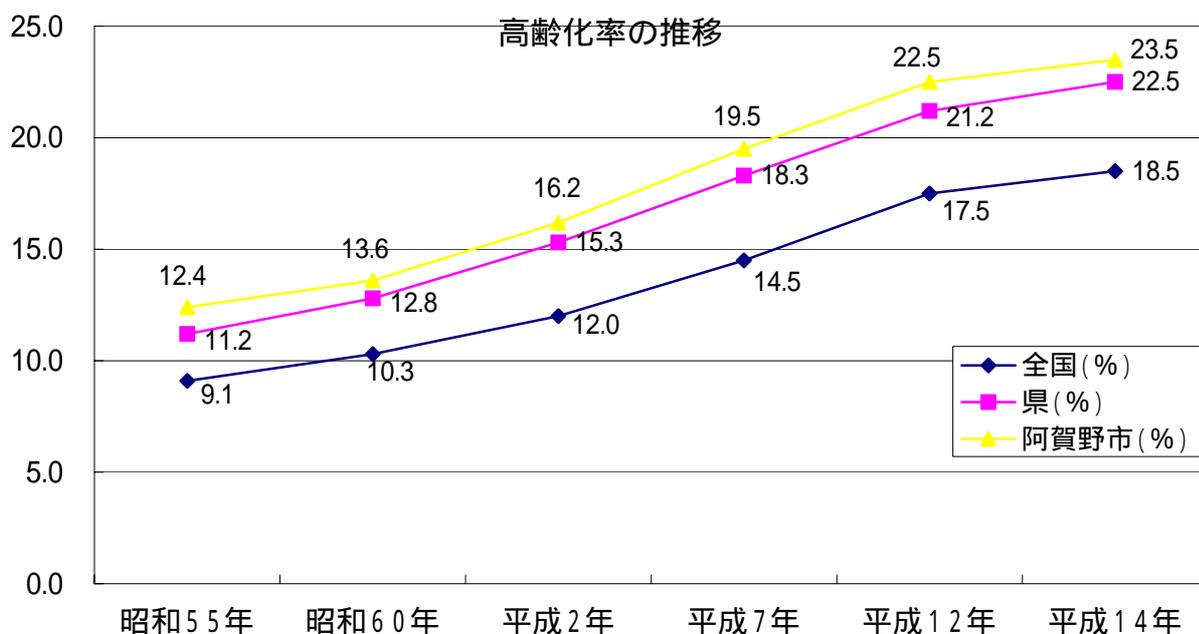
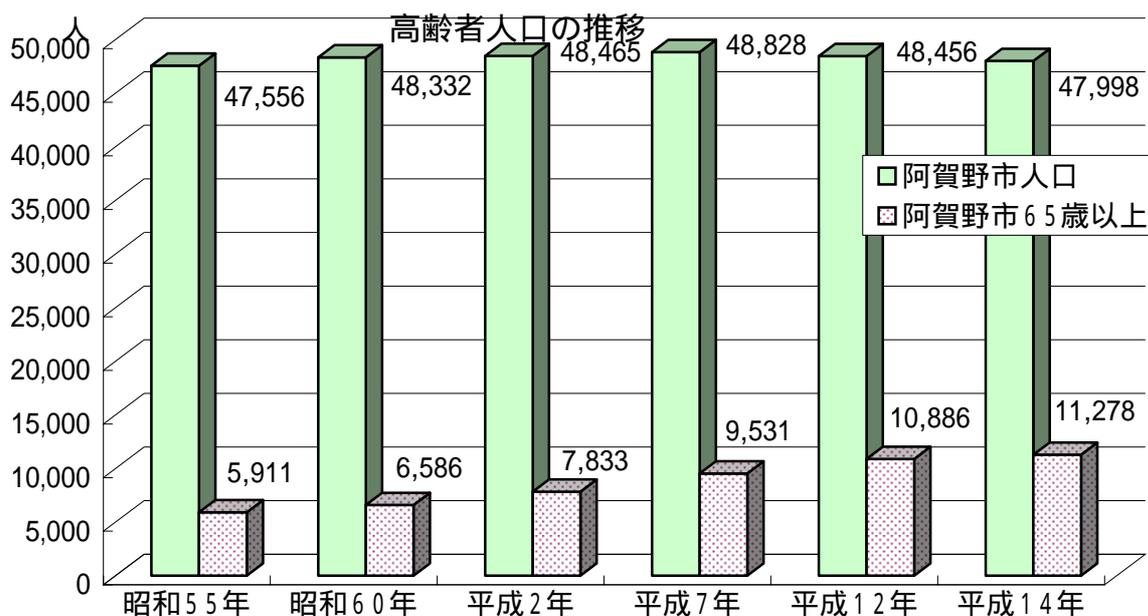
	昭和55年	平成2年	平成7年	平成12年	平成14年
死亡数(人)	402	412	459	468	481
阿賀野市	8.6	8.6	9.4	9.6	10.0
新潟県	7.3	7.6	8.6	8.9	9.0



《資料：福祉保健年報より》

高齢者人口（65歳以上）の推移

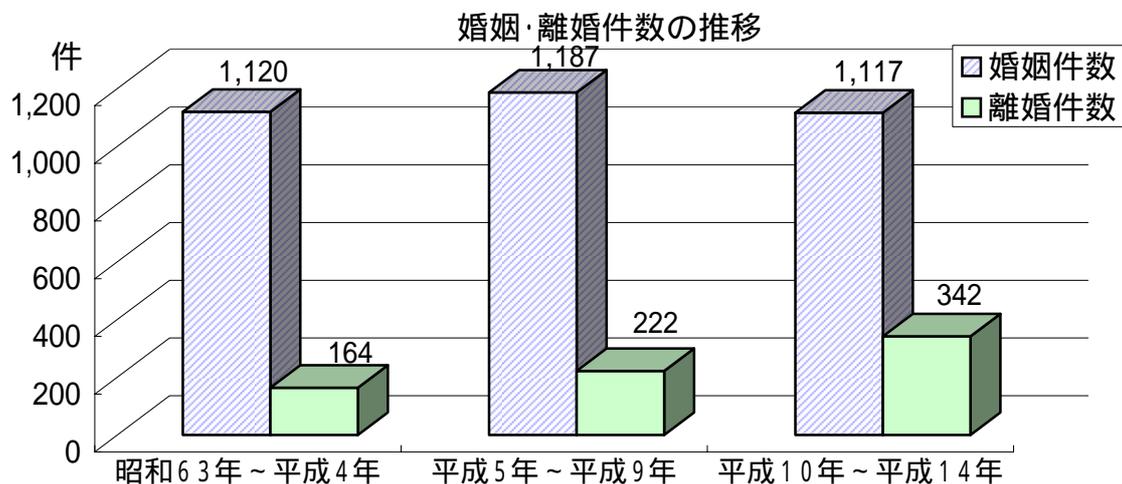
	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成14年
全国(%)	9.1	10.3	12.0	14.5	17.5	18.5
県(%)	11.2	12.8	15.3	18.3	21.2	22.5
阿賀野市(%)	12.4	13.6	16.2	19.5	22.5	23.5
阿賀野市人口	47,556	48,332	48,465	48,828	48,456	47,998
阿賀野市65歳以上	5,911	6,586	7,833	9,531	10,886	11,278



《資料：S55～H12までは国勢調査、H14は福祉保健年報より》

婚姻・離婚件数の推移

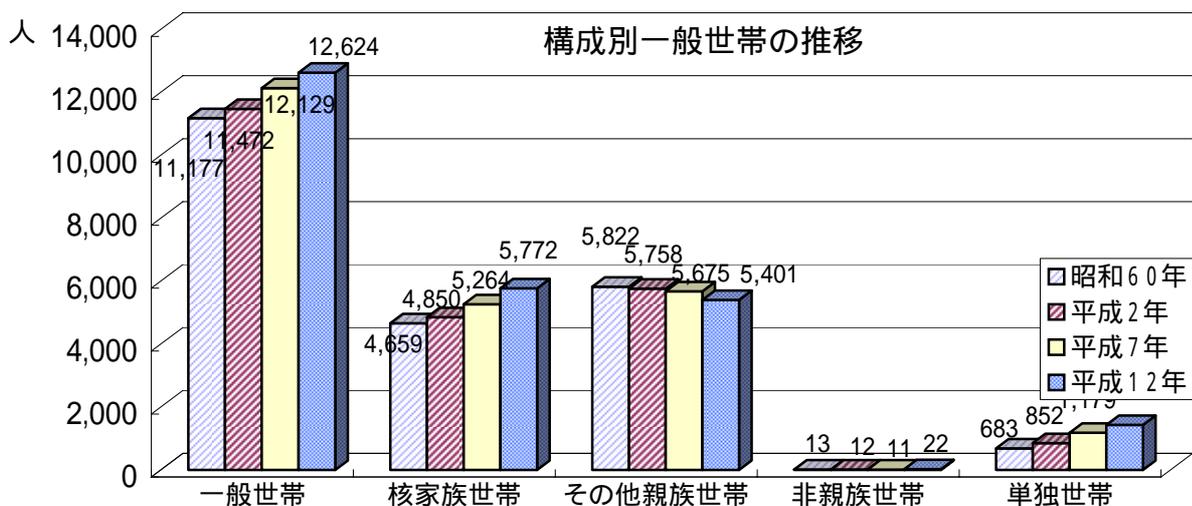
	昭和63年～平成4年	平成5年～平成9年	平成10年～平成14年
婚姻件数	1,120	1,187	1,117
婚姻率	4.6	4.9	4.5
離婚件数	164	222	342
離婚率	0.50	0.86	1.41



《資料：人口動態統計特殊報告より》
（厚生労働省大臣官房統計情報部）

構成別一般世帯の推移

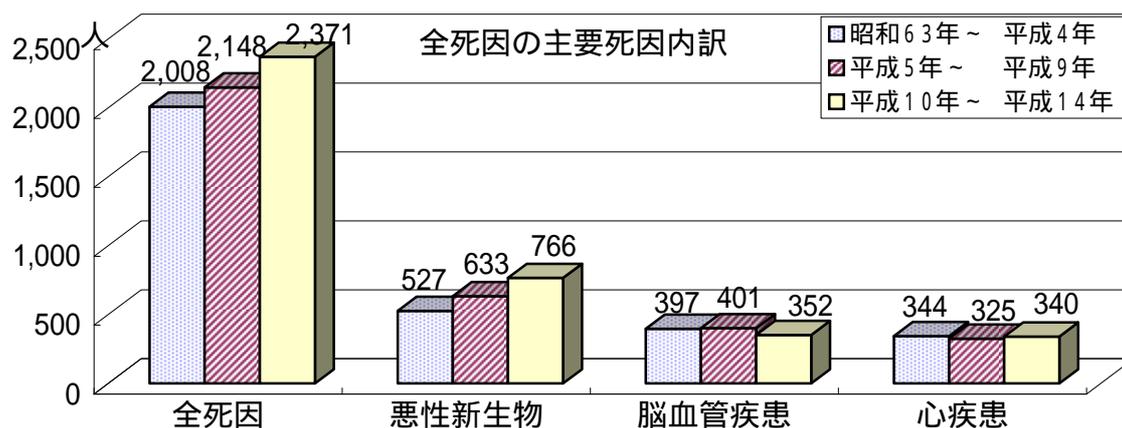
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
一般世帯	11,177	11,472	12,129	12,624
核家族世帯	4,659	4,850	5,264	5,772
その他親族世帯	5,822	5,758	5,675	5,401
非親族世帯	13	12	11	22
単独世帯	683	852	1,179	1,429



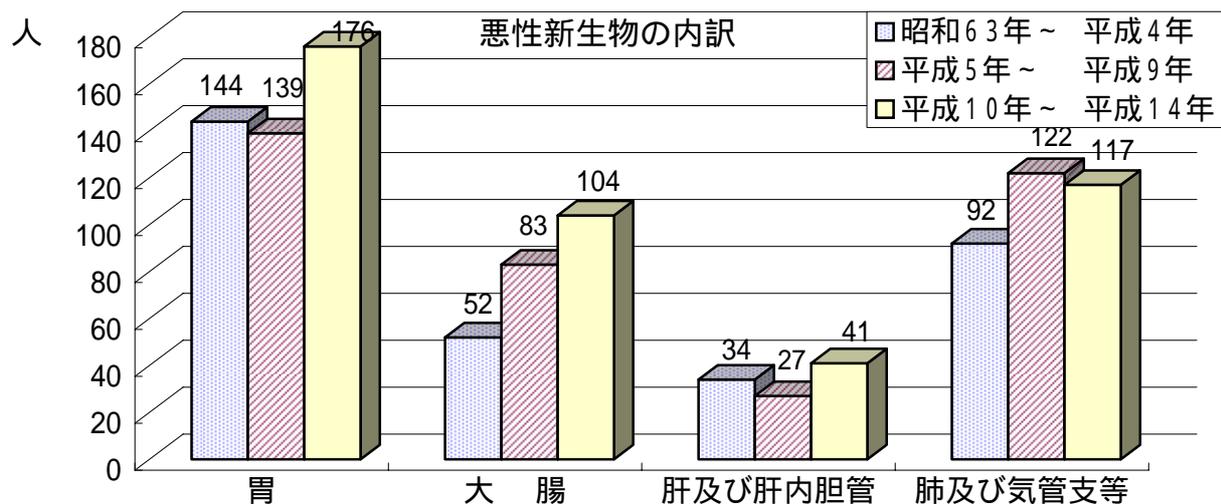
《資料：国勢調査より》

全死因の主要死因等内訳

	全死因	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患
昭和63年～平成4年	2,008	527	397	344
平成5年～平成9年	2,148	633	401	325
平成10年～平成14年	2,371	766	352	340

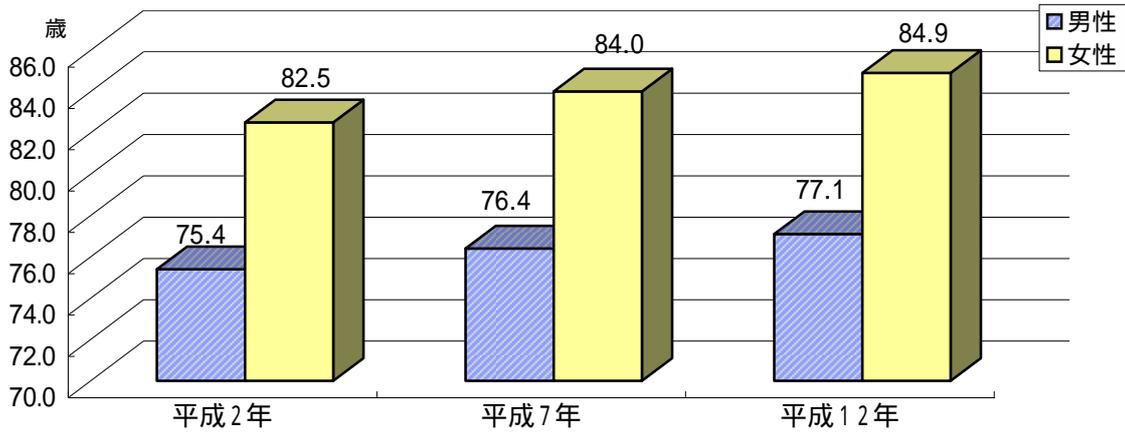


	胃	大腸	肝及び肝内胆管	肺及び気管支等
昭和63年～平成4年	144	52	34	92
平成5年～平成9年	139	83	27	122
平成10年～平成14年	176	104	41	117



《資料：人口動態統計特殊報告より》
（厚生労働省大臣官房統計情報部）

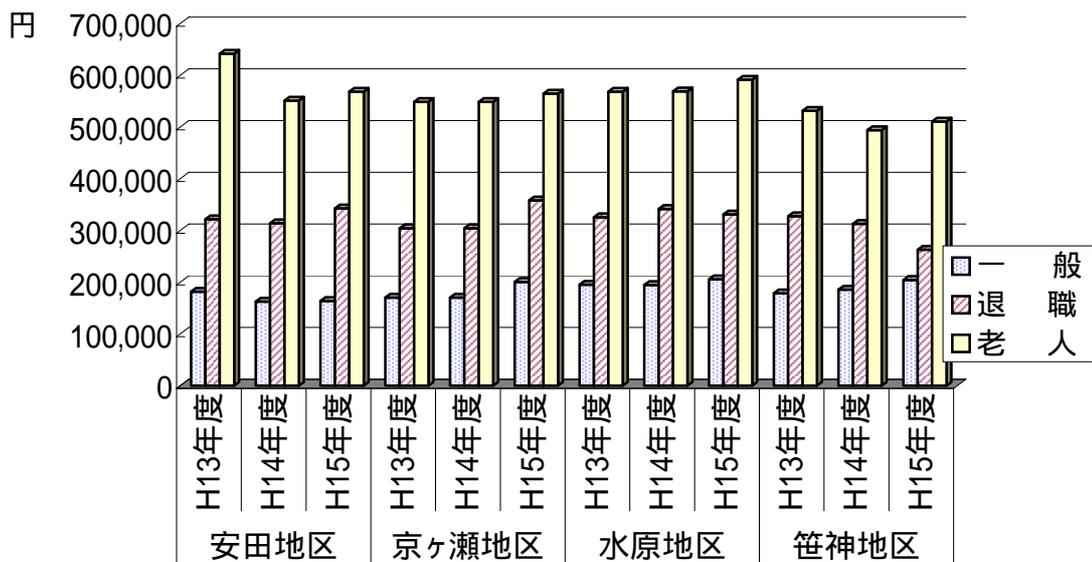
平均寿命の推移



《資料：平均寿命：（財）厚生統計協会より》

医療費の推移

地区名	年度	一般	退職	老人
安田地区	H13年度	181,808	321,913	641,658
	H14年度	162,688	313,956	550,941
	H15年度	163,843	342,866	568,330
京ヶ瀬地区	H13年度	170,382	304,368	548,559
	H14年度	170,382	304,368	548,559
	H15年度	200,697	358,286	564,539
水原地区	H13年度	195,223	325,622	568,176
	H14年度	194,691	341,704	568,926
	H15年度	205,851	330,985	591,491
笹神地区	H13年度	178,630	327,625	531,225
	H14年度	185,870	312,908	493,896
	H15年度	204,388	262,869	510,637

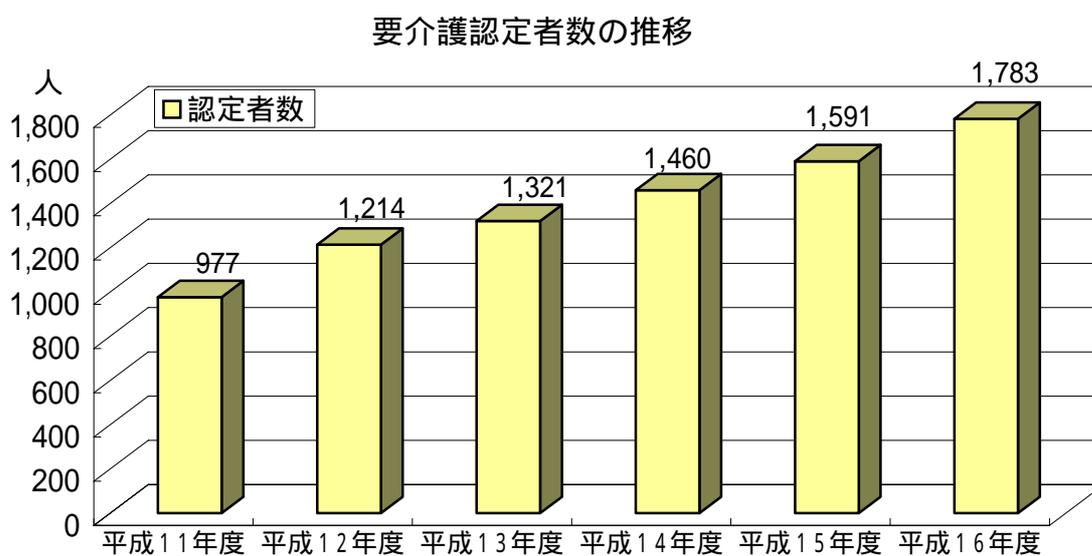
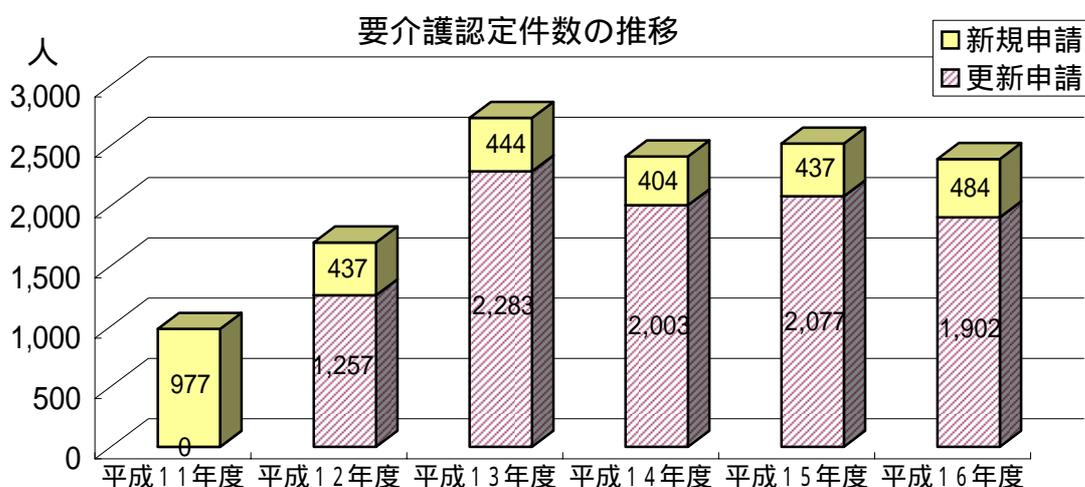


《資料：国民健康保険の実態より》

要介護認定件数及び認定者数の推移

	新規申請	更新申請	認定件数	認定者数
平成11年度	977	0	977	977
平成12年度	437	1,257	1,694	1,214
平成13年度	444	2,283	2,727	1,321
平成14年度	404	2,003	2,407	1,460
平成15年度	437	2,077	2,514	1,591
平成16年度	484	1,902	2,386	1,783

平成11年度は、試行期間（H11年10月～H12年3月）の認定者数



《資料：保険課より》

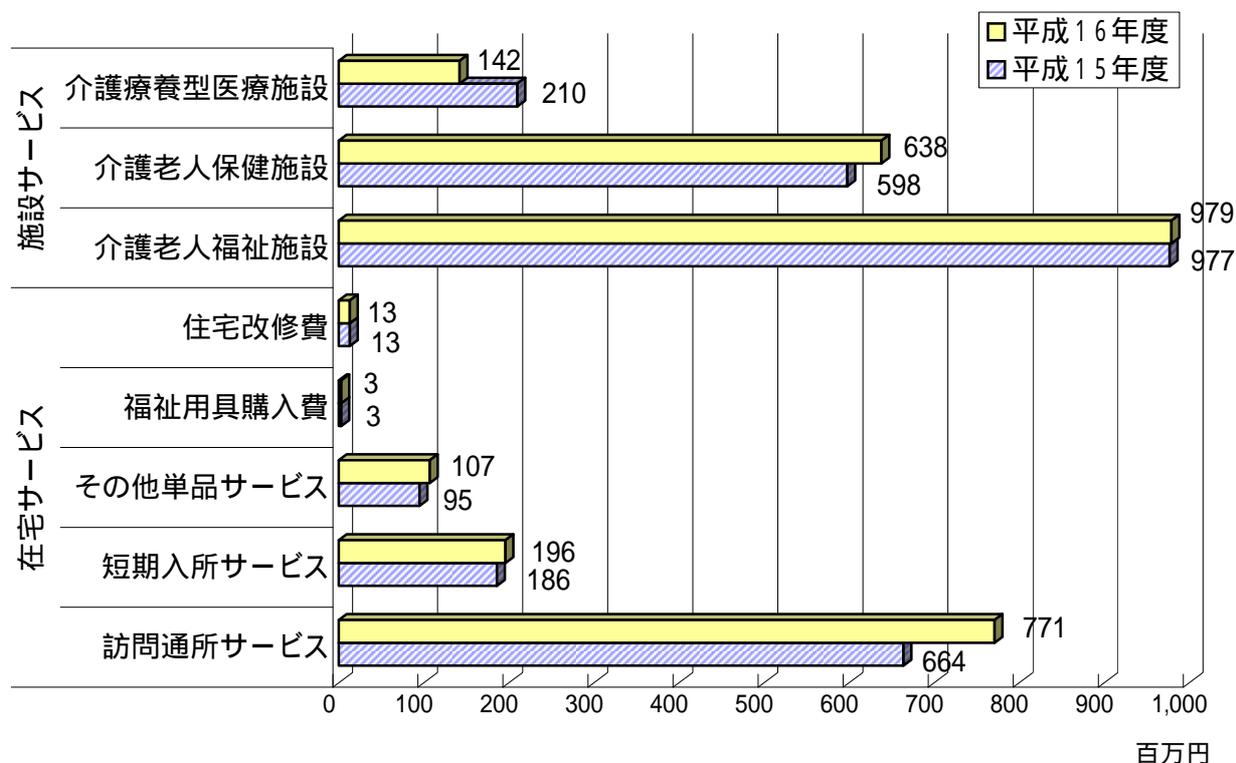
平成16年度認定者数の内訳：後期高齢者（75歳以上）1,450人
 前期高齢者（65歳～74歳）261人
 2号被保険者（64歳以下）72人

介護保険サービス利用状況

介護保険サービス費用

[単位:百万円]

種 類		平成15年度	平成16年度	比 較
在宅サービス	訪問通所サービス	664	771	107
	短期入所サービス	186	196	10
	その他単品サービス	95	107	12
	福祉用具購入費	3	3	0
	住宅改修費	13	13	0
施設サービス	介護老人福祉施設	977	979	2
	介護老人保健施設	598	638	40
	介護療養型医療施設	210	142	-68
合 計		2,746	2,849	103



《資料：介護事業報告より》

第2節 資料及びアンケートからみた阿賀野市の健康状況

栄養・食生活

低出生体重児が年々増加傾向にある。
偏った食事をしている妊婦が多い。
ベビーフードにたよる親が増えている。
幼児で朝食を食べない子が12%である。
幼児で1日三回以上間食する子が43%である。
若い人ほど野菜の摂取量が少ない。
全体でよくかんで食べていない人は50.7%である。
中学生では朝食を1人で食べる人は半数以上、若しくは子どものみで食べている。
高齢者では栄養バランスを考える男性が少ない。
70歳以上では、甘い物の間食をする傾向にある。
各世代ごとの食事内容が異なっている。
間食は女性が男性より10ポイント高い。
40歳代は煮野菜より、生野菜摂取を好む傾向がある。
全体的に肉食傾向・油料理が多い。惣菜やインスタント食品の購入もある。

身体活動・運動

子どもと体を使った遊びをしていないと感じている父親が約半数を占めている。
乳幼児期から長時間テレビ・ビデオを見せている家庭が増えている。
保育環境による運動発達の遅れ、フォローの必要なケースが見られる。
健康維持を目的とした運動習慣のある人は半数である。
中学生の帰宅後の過ごし方は、圧倒的にテレビが多い。
運動が習慣化している高齢者は30%である。

休養・こころの健康づくり

乳幼児の生活リズムの夜型傾向が進み、夜10時以降に寝る子が1割いる。
両親の労働状況で、不規則勤務や残業等で帰宅時間が遅い人も多く、子どもの生活時間にも影響している。
十分な睡眠時間がとれない。(30歳・40歳代でそれぞれ約60%)
ストレスを感じている人は全体で約60%である。
11時以降に寝る中学生は約65%である。
気持ちを『ほっと』させてくれる人や場所がある割合は全体で62.3%である。
9か月～3歳児までの生活リズムが崩れてきている。(就寝遅い・起床遅い)

たばこ

20歳代女性の喫煙者が多い。
乳幼児の家族で、子どもの前でたばこを吸う人が約40%を占めている。
未成年で喫煙している。
妊婦の喫煙状況は10.4%である。
全体で分煙していない率は約60%である。
20歳・30歳代でたばこを吸う率が高い。
働きざかりの40歳代は、たばこを吸う人で約半数が1箱以上吸っている。
基本健診受診者では、年齢が高くなるほど喫煙をやめる割合が高い。

アルコール

40歳・50歳代の飲酒（1週間に7合以上）が多い。また、この世代は酒により生きがいや豊かな気分になれると答えた人が多い。

歯の健康

3歳を過ぎた頃からむし歯が増える傾向にあり、5歳児の歯科健診では県の平均をはるかに超えて、一人平均むし歯数が4.74本である。
中学生以上で定期検診を受けている人は全体で14.8%である。
高齢になるにしたがい歯みがき回数が少ない。

糖尿病

3歳児で肥満傾向の子が毎年5%前後いる。
乳児期の肥満は学童の肥満につながることが多い。
中学生に肥満が多い。
中学生から生活習慣病が現れてきている。
中学生でおやつを毎日と時々を合わせると90%以上の人が食べている。
中学生では、就寝時間が遅い人は夜食を食べる傾向にある。
入院診療費をみると老人では県と比べると多い。
基本健診結果からは、血糖異常者は増加傾向ではない。
透析患者の原因をみると約26%が糖尿病である。

循環器病・がん

中学生ではしょっぱいものが好き、血圧異常者、高脂血症者がみられる。
基本健診の結果、高脂血症と判定される人が50%である。
がん死亡が多い。(全体の40%を占める。)
脳卒中の若年発症者がいる。
入院診療費をみると老人では県と比べると多い。

生活環境

家の近くに安心して遊べる場所があると答えた人は34%である。
出生数の減少
ごみが道の脇に投げられている。



朝ごはんは牛乳を加えるとカルシウムがアップし、バランスも良くなります。骨をじょうぶにするためにも牛乳を飲みましょう。

